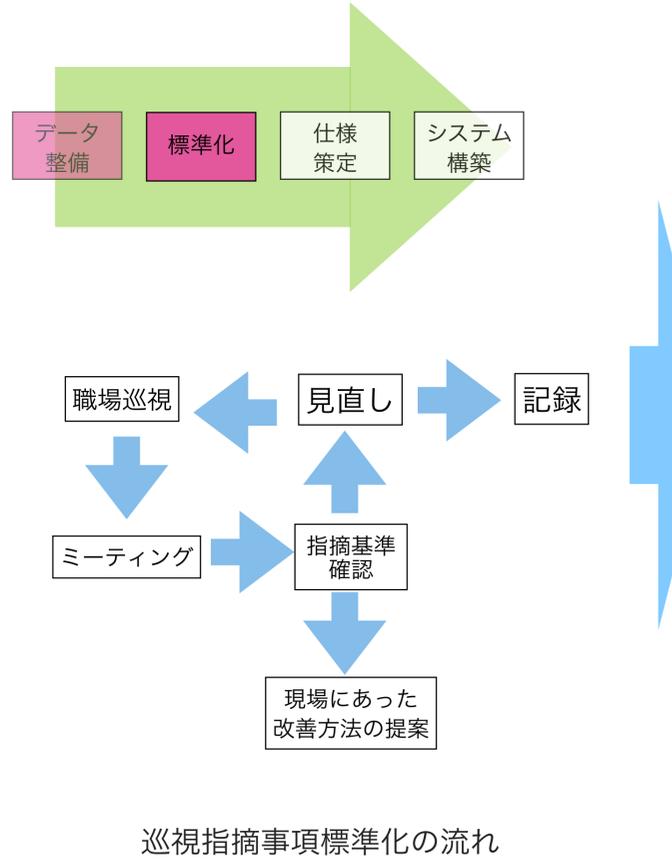
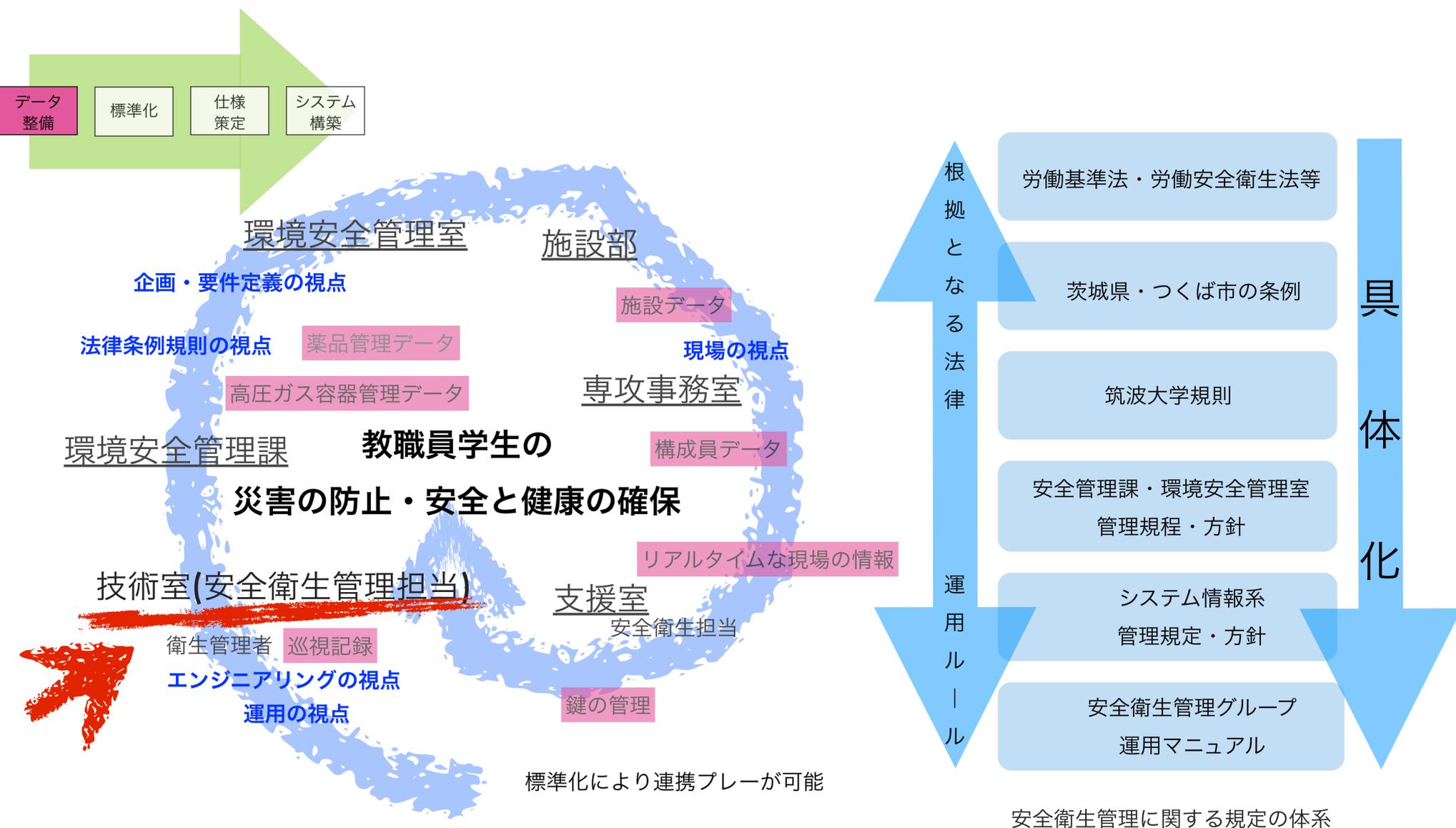


職場巡視から考える 安全衛生管理業務の標準化

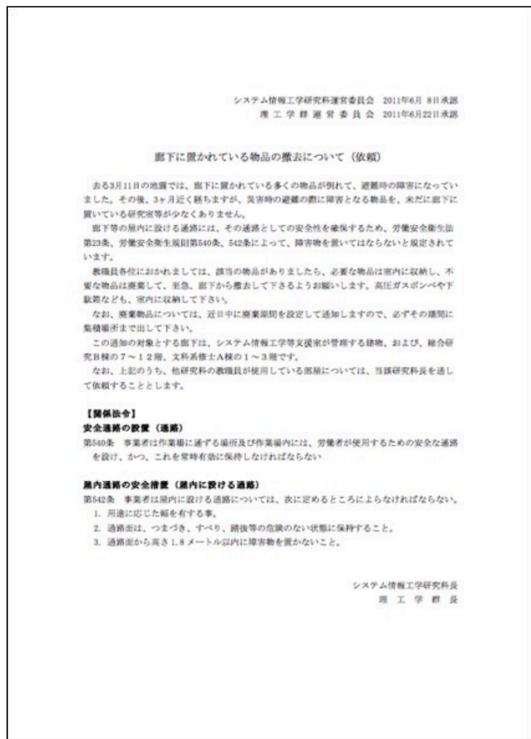
雨谷 恵 システム情報工学等技術室(安全衛生管理グループ)



システム情報系内における巡視基準(抜粋)

- 整頓**
 - 分電盤の扉開閉に支障がないこと。キャスト付きで簡単に移動可能な物は容認
 - 廊下の物置きは禁止
 - 室内全体の整理整頓、清潔保持
- 転倒**
 - 高さ150cm以上の書庫や物品棚を対象(ロッカー含む)
 - 転倒防止対策の前に、レイアウトでの工夫を指導
 - 組織内一括で実施する対策工事を推奨
- 落下**
 - 1.5m以上の高さから落下し、怪我のおそれがあるもの
 - 1.5m以上の高さから落下し、出入口の開閉の障害となるもの
 - 重量物は低いところに収納
 - 落下防止機構のある書庫、破損しない扉付きの物品庫を推奨
 - 落下防止用滑り止めテープ、ワイヤで落下防止対策する
- ボンベ**
 - ボンベスタンドの壁・床固定(高さ70cm以下の細型、ダルマ型は固定を推奨)
 - 容器はたるみのない上下二重チェーンで固定(高さ70cm以下500Lの細型、ダルマ型は固定推奨)
 - 古いボンベ、使わないボンベは速やかに返却し、最小限本数での保管、管理システムcrisへの登録
 - 高圧ガス利用者講習会への参加促進
- 配線**
 - 通路横断しないような取り回し、横断する場合は配線モールで保護
 - タコ足=即禁止ではないが、確実な接続と器具電流量の把握必要
 - 配線器具や電線の傷、損傷、充電部露出がないこと
- 書庫や物品棚の裏、机の下などのコンセントへの埃堆積によるトラッキング発火注意
- 通路**
 - 通路幅は70cm最低確保(避難安全検証法での最低基準60cm、安全衛生規則での機械間80cm)
 - 通路上に障害物(書籍、書類)を置かない、通路上に物が落下しないように
 - 1スパン(85m2未満)の部屋あたり一カ所(扉1枚=半間分)以上の出入り口確保
 - 2スパン(85m2以上)以上の部屋は両方向に一カ所(扉1枚=半間分)以上の出入り口確保
- 試薬**
 - 全ての薬品は管理システムcrisに登録が原則(登録しない薬品は保管しない)
 - 劇毒物は、劇毒物専用の薬品庫に保管し、施錠し、標識表示
 - 少量の薬品(アルコール類、有機溶剤など)は、転倒破損しないように所定の保管場所に保管し、標識表示
 - 所定の保管場所は物品棚や机の引出しの一部を転用可能とするが、劇毒物専用の薬品庫の管理方法に準ずる
 - 薬品使用時は換気する
 - 灯油購入時、使い終わり時は、環境安全管理課に報告 ※要確認
- 標識 騒音 照度 特記**
 - <標識>劇毒物、有機溶剤種類、保護具着用、火気厳禁、室内換気、生活流し・実験系流し
 - <騒音>60dbA以下が望ましい
 - <照度>作業面で通常300lx以上必要、500lx程度
 - <特記>はんだ付け時や薬品使用時の換気、室内の気積、安全衛生上の問題点

指摘する基準がバラバラでは業務の見通しが悪く、また生産性や品質も低下する可能性が大きい。職場巡視のように、特に繰り返し業務やコミュニケーションの有効性が求められる業務では、管理面、技術面を問わず標準化が望ましい。標準化によりチームの一体感やガバナンスも向上する。



部局における独自の管理方針(シス情系)

システム情報系が管理する建物等における管理方針を定め、新たに下駄箱を含め廊下に物品を置かないとする規定をそれぞれの部局の運用委員会で定めた。

1-2. 巡視写真
指摘する箇所および改善した箇所について以下のとおりとする

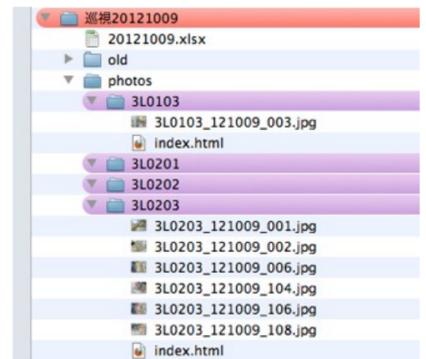
- ❖ 横向きとする
- ❖ 解像度は600x400とする
- ❖ 画像に日付を入れる
- ❖ 第三者が指摘箇所を判別できるように撮影する
- ❖ 知財および特許等秘密保持事項については撮影時に十分配慮する
- ❖ 画像ファイル名は 部屋番号_日時_通し番号.jpg とする



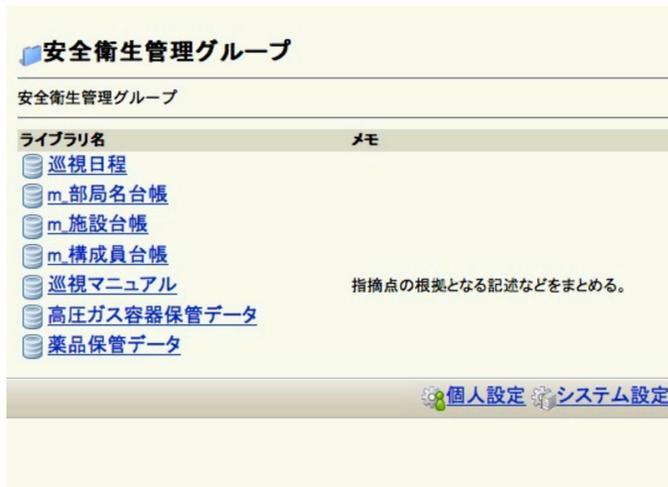
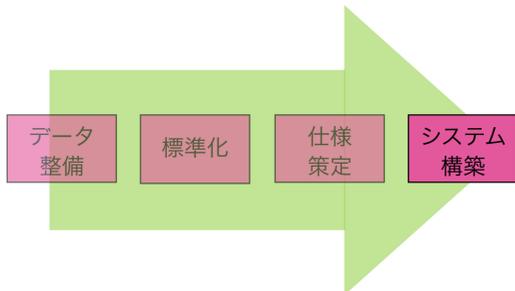
[整理] 4S (整理・整頓・掃除・清潔) を心がける

巡視報告の形式について

- ❖ A4一枚に収まる様にする
- ❖ サムネイル形式写真で横2縦3表示をする
- ❖ サムネイルからオリジナル写真にリンクをはる
- ❖ サムネイルの下に記載する見出し
 - ❖ 1行目: ファイル名(拡張子のぞく)
 - ❖ 2行目: 指摘事項は「[整頓]4S (整理・整頓・掃除・清潔) を心がける」等簡潔に



巡視記録用の写真仕様(例)



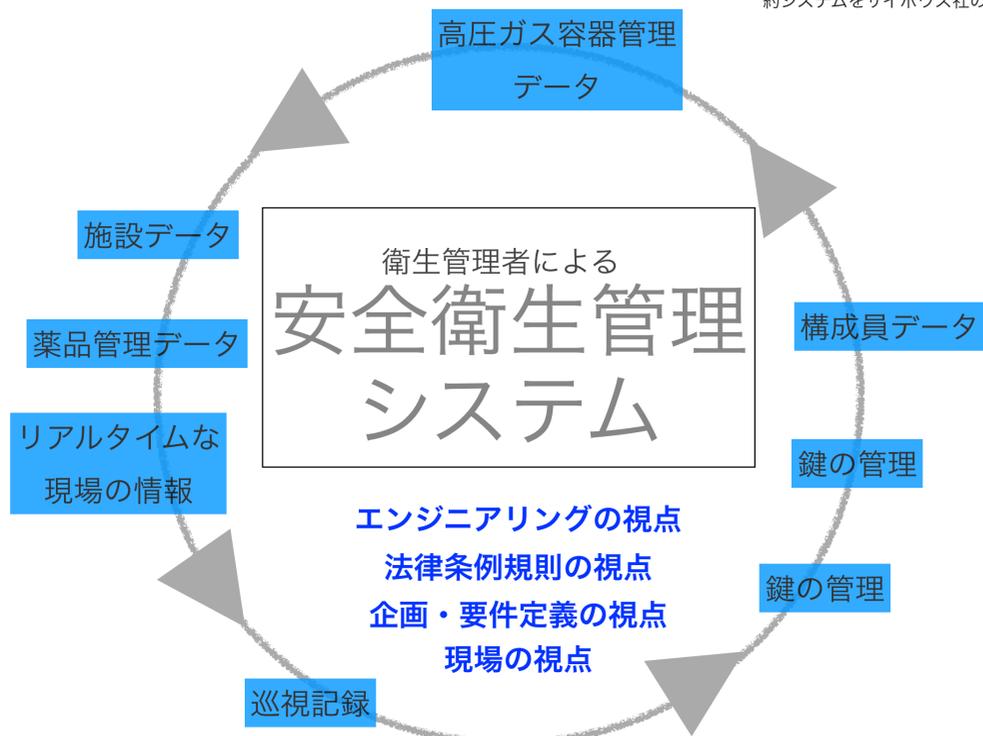
情報を整理しデータベースを作成

ID_部屋番号	3E0109
ID_建物	3E
棟番号	57
建物名称	工学系学系E棟
部屋番号	E109
部屋名称	技術職員室(装置開発班)
ID_補助監守者	●●●● L_補助監守者
L_補助監守者	●●●●
IE-mail(補助監守者)	●●●●@sie.tsukuba.ac.jp
使用者	中島孝
ID_財産監守者	●●●● L_財産監守者
L_財産監守者	システム情報エリア支援室長
マスター鍵	
マスター台帳区別	
備考	

施設データと構成員データをリレーションした例

(株)サイボウズ社のサイボウズデヂエ8にシステムを実装しています。

システム情報系では総合研究棟B棟の系内管理のセミナー室および全学で利用できる公開講義室などの施設予約システムをサイボウズ社のシステムを利用しています。



安全衛生管理に係るすべての情報

大学における安全衛生管理では機密性・完全性・可用性を十分に考慮し

誰がどこに何を

持っているか管理し、必要時に速やかに情報提供できるシステムが必要です。



まずは標準化から

教職員学生の災害の防止・安全と健康の確保のために